

学年:	2年生	Stage:	Stage II	コード:	O2203	単位:	1.4
モジュール名	生理学Ⅱ			科目担当責任者	高橋 聡子		
モジュール名(英字)	Physiology II			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標 (GIO)	口腔、顎、顔面には、他の身体部位に比べて多様な運動機能、感覚機能、自律機能が発現する。口腔生理学は、これらの機能が発現する仕組み(メカニズム)を明らかにする学問である。「生理学Ⅱ」ではこれまで学んできた「一般生理学」に加え「口腔生理学」を学んでいく。口腔、顎、顔面領域は特有な機能を多く有している。とくに、口腔生理学は歯科臨床を適切に実施する基礎となるため、これまでの生理学を十分理解したうえで、口腔生理学を理解していくことが重要となる。						
ユニット:一般目標	1. 興奮性細胞の構造と機能 興奮性細胞の構造と機能を説明できる。 2. 筋肉の構造と機能 筋肉の構造と機能を説明できる。 3. 運動系の構造と機能 運動系の構造と機能を説明できる。 4. 自律神経系の構造と機能 自律神経系の構造と機能を説明できる。 5. 循環器系(心電計・心電図) 循環器系(心電計・心電図)を説明できる。 6. 循環系(血圧) 循環系(血圧)を説明できる。 7. 体性感覚 体性感覚を説明できる。 8. 味覚・嗅覚 味覚・嗅覚の機能を説明できる。 9. 口腔感覚 口腔感覚を説明できる。 10. 口腔機能 口腔機能を説明できる。 11. 嚥下機能 嚥下機能を説明できる。 12. 嘔吐機能 嘔吐機能を説明できる。 13. 唾液の機能 唾液の機能を説明できる。 14. 構音機能 構音機能を説明できる。						

教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー—CP	CP2,CP3
	a / - / -	b / b / b	c / - / c		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 基礎歯科生理学/ 岩田幸一 他/ 医歯薬出版
 参 1/ ビジュアル生理学・口腔生理学/ 吉垣純子 他/ 学建書院
 参 1/ 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学/ 日野原重明 他/ 医学書院
 参 2/ 歯科国試パーフェクトマスター 生理学・口腔生理学/ 村本和世/ 医歯薬出版

評価方法

出欠席	1. 「2026年度神奈川歯科大学履修ガイド」に準ずる。 2. 正当な理由があると認められた欠席者は、速やかに補完講義を受けること。 3. その他、特殊なケースの場合には、教育学部と科目担当者との協議により決定するものとする。						
モジュール試験(%)	70	客観式試験で行う。					
アクティビティ(%)	30	レポート評価は20%とする。期限までに未提出レポートが1項目でもあった場合、アクティビティ評価は「0点」とする。レポートの体をなしていないと判断された場合、その項目の評価は0点とする。課題内容と提出期限は講義中に担当教員が提示する。振り直し試験を行い、その結果を10%とする。指定された時間内のみ受験できる。振り直し試験の追再試験は行わない。					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				20			10
再試験の評価方法	モジュール評価が「不合格」の場合は客観式試験により再評価を行う。 アクティビティ評価は演習レポート20%+振り直し試験評価10%とするため、個別の評価となる。従って、それぞれの再試験を行う。 ①レポート評価が60%に満たない場合は「実習試験(客観式試験)」を実施する。 ②振り直し試験の評価が60%に満たない場合は「アクティビティ再試験(客観式試験)」を実施する。 したがって以下の通りの実施となる。 ①モジュール試験が合格、アクティビティ評価が不合格の場合は実習試験 and/or アクティビティ再試験(客観式試験)を行う。 ②モジュール試験が不合格、アクティビティ評価が合格の場合はモジュール再試験(客観式試験)を行う。 ③モジュール試験が不合格、アクティビティ評価が不合格の場合はモジュール再試験(客観式試験)、実習試験 and/or アクティビティ再試験(客観式試験)を行う。 ***出席率が70%を下回る場合は「アクティビティ再評価」対象外とする。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施する。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203.001.6/2.3限	2026/06/02	3		講義	31番教室	60
ユニット	内分泌機能					
サブユニット	内分泌の機能					
授業目標	1) ホルモンの種類を説明できる。 2) ホルモンの作用機序を説明できる。 3) 視床下部・下垂体ホルモンを説明できる。 4) 甲状腺・上皮小体ホルモンを説明できる。					
キーワード	ペプチド型、アミン型、ステロイド型、受容体、下垂体前葉・後葉、成長ホルモン、プロラクチン、パソプレシン、オキシトシン、サイロキシン、トリヨードサイロニン、パソルモン、カルシトニン、Ca代謝					
担当	水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.132-147					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-9-1,A-3-1-9-2,A-3-1-9-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ケ-a,総論Ⅱ-1-ケ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203.002.6/2.4限	2026/06/02	4		講義	31番教室	60
ユニット	内分泌機能					
サブユニット	内分泌の機能					
授業目標	1) 膵臓のホルモンを説明できる。 2) 副腎ホルモンを説明できる。					
キーワード	インスリン、グルカゴン、副腎皮質ホルモン、副腎髄質ホルモン、テストステロン、エストロゲン、プロゲステロン					
担当	水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.132-147					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-9-1,A-3-1-9-2,A-3-1-9-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ケ-a,総論Ⅱ-1-ケ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203.003.6/9.3限	2026/06/09	3		講義	31番教室	60
ユニット	生殖機能					
サブユニット	生殖機能					
授業目標	1) 生殖と性腺について説明できる。 2) 性の決定について説明できる。 3) 性腺ホルモンを説明できる。					
キーワード	男性ホルモン, 精嚢, 尿道球腺, 前立腺, 女性ホルモン,					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.151-155					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-11-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-キ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203.004.6/9.4限	2026/06/09	4		講義	31番教室	60
ユニット	生殖機能					
サブユニット	生殖機能					
授業目標	1) 生殖器の機能を説明できる。 2) 妊娠と分娩について説明できる。					
キーワード	精祖細胞, 精母細胞, 精娘細胞, 精子細胞 精子, セルトリ細胞, 血液精巣関門, ライディッヒ細胞, 基礎体温					
担当	高橋 聡子					

学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.151-155
コアカリ(令和4年)	A-3-1-11-1
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-キ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_005_6/16_3限	2026/06/16	3		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の機能					
サブユニット	循環器系(心電計・心電図)					
授業目標	1) 心電計のしくみを理解できる 2) 心電図から判明することが理解できる					
キーワード	心電計、心電図波形、電極、アイントーベンの三角、心軸、心拍					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.76-94					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2,A-3-1-4-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-ウ-a,総論Ⅱ-1-ウ-b,総論Ⅵ-4-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_006_6/16_4限	2026/06/16	4		演習	31番教室	60
ユニット	機能系演習					
サブユニット	循環器系(心電計・心電図)					
授業目標	1) 心電計のしくみを理解できる 2) 心電図から判明することが理解できる					
キーワード	心電計、心電図波形、電極、アイントーベンの三角、心軸、心拍					
担当	高橋 聡子,栗本 勇輝,水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	事後学修:レポート作成					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2,A-3-1-4-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-ウ-a,総論Ⅱ-1-ウ-b,総論Ⅵ-4-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_007_6/23_3限	2026/06/23	3		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の機能					
サブユニット	循環器系(血圧)					
授業目標	1) 血圧の定義を理解する 2) 平均血圧が算出できる 3) 血圧計の各部名称が言える 4) 血圧測定方法を説明できる					
キーワード	収縮期血圧、拡張期血圧、脈圧、平均血圧、触診法、聴診法、静水圧					
担当	高橋 聡子					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 P.76-94					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2,A-3-1-4-3,A-3-1-4-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-ウ-a,総論Ⅱ-1-ウ-b,総論Ⅵ-4-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_008_6/23_4限	2026/06/23	4		演習	31番教室	60
ユニット	機能系演習					
サブユニット	循環器系(血圧)					

授業目標	1) 血圧の定義を理解する 2) 平均血圧が算出できる 3) 血圧計の各部名称が言える 4) 血圧測定方法を説明できる
キーワード	収縮期血圧、拡張期血圧、脈圧、平均血圧、触診法、聴診法、静水圧
担当	高橋 聡子,栗本 勇輝,水野 潤造
学修範囲(事前事後学修)	事後学修:レポート作成
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2,A-3-1-4-3,A-3-1-4-4
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-ウ-a,総論Ⅱ-1-ウ-b,総論Ⅵ-4-7-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_009_6/30_3限	2026/06/30	3		講義	31番教室	60
ユニット	感覚機能					
サブユニット	体性感覚					
授業目標	1) 感覚の種類を説明できる。 2) 反応の特性を説明できる。 3) 体性感覚の受容器と伝導路を説明できる。 4) 音の受容器官を説明できる。 5) 音の受容と聴覚伝導路を説明できる。					
キーワード	皮膚感覚、深部感覚、内臓感覚、特殊感覚、一般的性質、感覚受容器、外耳、内耳、中耳、コルチ器、有毛細胞、聴覚中枢					
担当	水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料、基礎歯科生理学 P180-205					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-6-1,A-3-1-6-2,A-3-1-6-3,A-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-ク-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_010_6/30_4限	2026/06/30	4		演習	31番教室	60
ユニット	機能系演習					
サブユニット	感覚					
授業目標	1)感覚(二点弁別閾を説明できる。)					
キーワード	体性感覚					
担当	高橋 聡子,栗本 勇輝,水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	事後学修:レポート作成					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-6-1,A-3-1-6-2,A-3-1-6-3,A-3-1-6-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅵ-4-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2203_011_7/7_3限	2026/07/07	3		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感覚(痛覚)					
サブユニット	体性感覚					
授業目標	1)口腔粘膜・顔面皮膚の痛み 2)顎関節の痛み					
キーワード	三叉神経、VPM核、侵害受容器、感覚神経、発痛物質					
担当	水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料、基礎歯科生理学 p.268-271					
コアカリ(令和4年)	A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-6-7-a,総論Ⅱ-6-7-b,総論Ⅱ-6-7-c,総論Ⅱ-6-7-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O2203_012_7/7_4限	2026/07/07	4		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感覚					
サブユニット	体性感覚					
授業目標	1)象牙質の感覚の特徴を説明できる。 2)歯根膜の感覚の特徴を説明できる。 3)歯根膜の役割を列挙できる。					
キーワード	動水力学説、A δ 線維、C線維、固有受容器、顎反射					
担当	水野 潤造					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料, 基礎歯科生理学 p.261-268					
コアカリ(令和4年)	A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論II-6-7-c					